



地域おこし協力隊 を紹介します! vol.16

10月から新たに地域おこし協力隊が着任しました。新メンバーのプロフィールや活動内容を紹介します。本市では現在、10人の隊員が活動しています。

【問い合わせ先】企画振興課 ☎0968(25)7250



菊芋



ブランド推進マネージャー

江上 法人さん

出身 熊本市北区

菊池の好きな場所

菊池溪谷はリラックスできる癒やしの空間です。子どもの頃から数えると、通算100回以上は訪問しています。

特技

怖いもの知らずのところ。菊芋を深く知りたくて、大学や研究機関などに連絡しました。

趣味

地場産品を扱う直売所を60カ所以上巡りました。また、菊芋の栽培と、菊芋の新商品を考えるのが好き。菊池で畑を見つけたいです。

なぜ菊池の協力隊に？

菊芋に魅了され、自分で栽培や情報収集、試作などをしていました。菊芋は菊池の特産品。農業関係の協力隊を菊池が募集していたので、自分の経験を生かして菊芋を使ったまちおこしができるかと考えて応募しました。
—どんな活動を行っていますか—
ヤーコン、水田ごぼう、菊芋といった菊池の農産物のブランド化を手伝いたいのです。また、市民に菊芋の魅力を伝え、自分でも商品開発したいです。栽培や加工技術のアドバイスのほか、菊芋の繁殖に困っている人には根絶方法も助言できます。気象にご相談ください。
—菊池の印象は？—
熊本県屈指で農業レベルが高い地域の印象でしたが、着任して畜産も盛んだと知りました。菊池のことは、まだ知らないことだらけ。これから勉強し、もっと地域を深く知りたいです。
—3年後、菊池をどんなまちにしたいですか。—
市外や県外の人に、菊池は健康に良い野菜が採れるまちだとイメージしてもらえよう活動していきたいです。菊池の仲間の一員として、皆さんと何かを成し遂げたいと思っています。公私とも仲良くしてください。

地域おこし協力隊通信

vol.31



1_中央公民館キクロスで開催している英会話教室。レベルに合わせた丁寧な指導が好評だ 2_自作したモバイルハウス前で馬とふれあう 3_完全無農薬で作った野菜の数々 4_外国人に向け菊池の魅力を発信するホームページを作成中

「里山創造コーディネーター」
松枝 智博さん



海外経験を菊池に還元 自然に囲まれた生き方を

持続できる農業のあるライフスタイル「パーマカルチャー」と、自給できる農業に加え他の特技を生かした収入もある生活「半農半X」を実践。完全無農薬で野菜を作っているほか、野菜を加工した商品の販売を目指しています。また、移動や増設が可能なモバイルハウスも自力で建設中。災害時にはシェルターにもなる簡素ながら強い構造の家で、来年度には完成する予定です。

また、外貨取得の方法として民泊関連の活動にも取り組んでいます。近年増え続ける外国人旅行者は、能動的な旅を好む人が多いです。需要に応える仕掛け作りとして体験アクティビティを開発していて、メニューが揃ったらそれらを海外に向けて情報発信していく予定です。
8年の海外生活経験を生かし、英語の活動もしています。外国人に向けたサイトを製作しているほか、外国人のモニターツアーに同行し、通訳やマーケティングに使えるシーンの撮影をしています。
中央公民館キクロスで英会話教室を開講しています。外国人とも即興で話せる実践的な英語を教えているので、興味がある人はぜひ見学に来てください。